

## 2014年度 学部共同研究会一覧

回 / 日 時	テーマおよび報告者
第1回 (4月17日)	《講演会》 「これまでのスポーツ研究をふりかえって：スポーツ・ジェンダー・セクシュアリティ」 ジェニファー・ハーグリーブス博士 (元ブルネル大学教授)
第2回 (6月11日)	《講演会》 「バルミジャーノと絵画の器官なき身体」 シュールト・ファン・ツイネン氏 (エラスムス大学准教授)
第3回 (6月17日)	《私の研究》 「少子化・健康・移民—先進諸国における人口学的課題—」 玉置 えみ氏 (産業社会学部助教) 「国際ラグビー評議会とラグビーの世界的普及に関する研究」 松島 剛史氏 (産業社会学部准教授)
第4回 (7月2日)	「アーレントに於ける『社会』と『政治』」 間庭 大祐氏 (社会学研究科博士後期課程) 「アーレントに於ける『労働』・『仕事』・『活動』」 百木 獏氏 (京都大学大学院人間・環境学研究科) 「アーレントの思想と韓国社会」 Prof. Seung Wook-Baek (韓国中央大学教授)
第5回 (7月11日)	《院生報告》 「中国における自閉症スペクトラム児とその家族のニーズに関する研究—蘇州・培智学校 (特別支援学校) の事例を通して」 張 銳氏 (社会学研究科博士後期課程)
第6回 (7月15日)	《私の研究》 「生活目標・自殺率・社会保障の一連研究」 柴田 悠氏 (産業社会学部准教授)
第7回 (7月23日)	《講演会》 「近代社会の再封建化：社会文化・ジェンダー・経済」 ジークハルト・ネッケル氏 (ゲーテ大学教授 / フランクフルト社会科学研究所所長)
第8回 (8月15日)	「若者の孤立や関係性の喪失と現代社会」 仁藤 夢乃氏 (女子高生サポートセンター Colabo 代表)
第9回 (11月25日)	《私の研究》 「戦後『中央公論』と「風流夢譚」事件に関する研究」 根津 朝彦氏 (産業社会学部准教授)
第10回 (3月3日)	《定年退職記念研究会》 テーマ：「私の研究・教育：産社へのメッセージ」 荒木 穂積氏 (産業社会学部教授) 櫻谷 眞理子氏 (産業社会学部教授) 峰島 厚氏 (産業社会学部教授) 佐藤 春吉氏 (産業社会学部教授)